

とうざん



有田町立有田小学校 校長 松尾 寛



久留米緋の一反

芸術の秋、伝統工芸を体験しました！

先週の火曜日に、4～6年生は伝統工芸の出前授業を受けました。これは、全国重要無形文化財保持団体協議会 佐賀・有田大会が開催され、その一環として町内の小学校でワークショップを行いました。4・5年生は伊勢型紙を、6年生は久留米緋を体験しました。有田焼きと同様に卓越した技術を先達から後生に受け継がれ、今も輝きを放っている伝統・文化ですばらしいものでした。私も両方を体験させて頂きました。久留米緋は麻の表皮でくびった部分には藍染めが入らないことで白地の模様ができる体験でした。伊勢型紙は楮(こうぞ)から作った和紙に見本の模様を専用のカッターで切り抜いていく体験でした。子ども達は、要領を得ると上手にできていました。伝統工芸士の技術を見ても素晴らしい緋や型紙が生み出されることがよく分かりました。町文化財課をはじめ、教えて頂いた伝統工芸士の方々にお礼を申し上げます。ありがとうございました。



手作りの久留米緋や伊勢型紙の技を見せて頂き、子ども達は手くびりや切り抜きの体験をしました。



図書館まつりが開催されました！

子ども達の読書への興味・関心を高め、図書室へ通う機会を増やすために、図書委員会さんが計画や準備をして開催しました。多くの子ども達が図書館に来て、ゲームやクイズを楽しみながら、期間中の特典で一人3冊の本を借りていました。これからも、読書を楽しむ有田っ子をめざしていきます。



初日から大賑わいで、本に挟められたカードを見つたりくじを引いたりしてプレゼントがあり、大盛況でした。

5年生が国語の学びで積極的に話し合っていました！

先週水曜日に、今年度最後の全体授業研究会で5年生の峰松先生が授業をしました。説明文『固有種が教えてくれること』を教材にして、文章と図表を見比べながら筆者が書いていることを読み取りました。筆者は、固有種を題材にして、ニホンカモシカが増え過ぎると植林地の枝葉が食べられ減少するため、天然記念物でも捕獲することで、動物と自然環境のバランスが重要と述べていました。

それについて、5年生の子ども達はグループで話し合い、文章に書いてあることと、グラフの推移を関連付けて説明したり、疑問を解決したりすることができました。子ども達にとって、文章を読みながら図表を見て問題を解くことが求められます。今回のように、ホワイトボードで図表から分かることを書き込んだり話し合ったりすることを、これからも続けていきます。



固有種の保護と生息環境の保護のバランスについて、てんびんやホワイトボードで考えを見える化して話し合いました。

楽器演奏の楽しさを体験することができました！

学校運営協議会のメンバーである青木正安さんが、毎年、子ども達に木管楽器や金管楽器・弦楽器、ドラムの演奏体験させて下さっています。今回も3年生以上が1時間ずつ、体育館で色々な楽器の演奏に挑戦しました。上級生ほどこれまでの経験をいかして、上手に音を出すことができていました。指導教諭の坂口先生は、「毎年、体験している子ども達は、さすが音を出すことが上手です。私も挑戦しましたが、子ども達のように音を出せませんでした。」と話していました。青木さんが毎年、多くの楽器を準備して頂き、音の出し方をやさしく教えて頂いているおかげだと思います。青木さん、ありがとうございました。どうぞ、これからも有田っ子が音を楽しめる機会を宜しくお願いします。



青木さんが、それぞれの学年や子どもに応じて、やさしく教えて頂き、子ども達は音が出せました。

3年生が、楽しい音読を披露しました！

今年度5回目となる、音読集会を行いました。今回は、3年生が音読に動きを加えたり、音読した歌詞を歌ったりして、楽しい発表をすることができました。出張に行く前に、3年生のすてきな音読を聴き、気持ちよく出かけることができました。3年生、とてもすばらしかったです。

動作を入れたり歌ったりして、3年生の楽しい音読でした→

